

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集

ダイアグノスティクス事業強化 × 医療DX × 経営体質改善で
企業価値向上へ

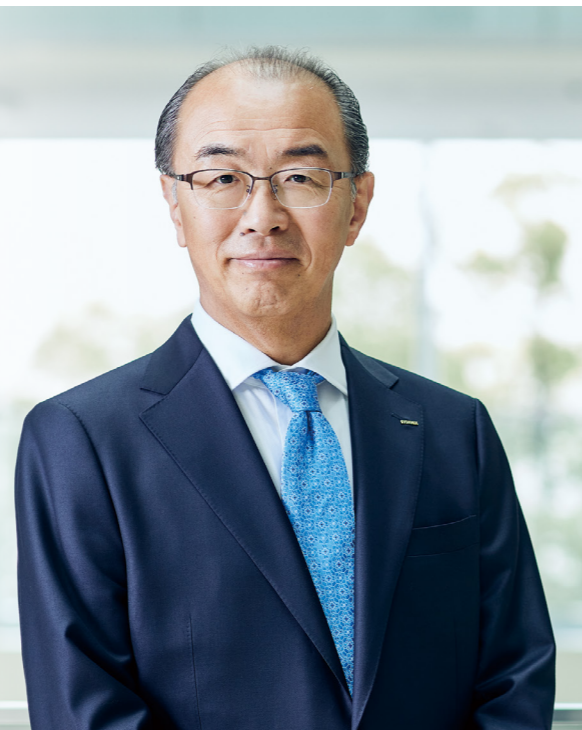
新・中期経営計画を策定 5ページ



血液凝固分野のハイエンド製品が発売された米国 → 4ページご参照

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

新体制スタート、 主力事業の強さと 収益性を再強化



代表取締役社長

松井 石根

まつい いわね

【出身地】兵庫【略歴】大学を卒業後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。2011年執行役員 経営企画本部長、2023年取締役専務執行役員を経て、2026年現職に就任。【趣味】散歩、ゴルフ【信条】常に未完成たれ

ポイント 2026年3月期は中国の影響や減損損失の影響により減収減益も、 2027年3月期は主力事業の再強化などに取り組み、増収増益を計画

ステークホルダーの皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

4月より、代表取締役社長に就任いたしました松井でございます。医療を取り巻く環境が大きく変化中、当社に求められる役割は、ますます大きくなっています。新体制のもと、これまで培ってきた強みをさらに磨き上げ、持続的な成長と企業価値の向上に向けて尽力してまいります。

2026年3月期通期の業績は、米州、EMEA、アジア・パシフィックは堅調に推移しましたが、中国の医療費抑制政策の影響や、新規領域におけるのれん減損損失112億円の計上などにより、前年同期比では減収減益となりました。(売上高は前年同期比1.7%減、営業利益は同40.8%減、当期利益*は同33.9%減)

なお、中国を除く売上高は、円ベースで前年同期比5.1%増となっており、ヘマトロジー*や血液凝固分野など、主要分野の事業基盤となる競争力は維持されています。さらに、インドおよびブラジルを含む新興国は、前年同期比17%増と

高い成長を続けており、今後も成長が期待できる地域です。

また、今期より2029年3月期を最終年度とする中期経営計画が新たにスタートしました(5-6ページご参照)。

2027年3月期は、血液凝固分野における欧米市場での直販推進を通じて売上拡大を図るとともに、試薬売上の伸長による収益向上につなげてまいります。中国の不確実性を織り込みつつも、各地域の成長を軸に、売上高5,350億円、営業利益580億円、当期利益360億円の増収増益を計画しています。*

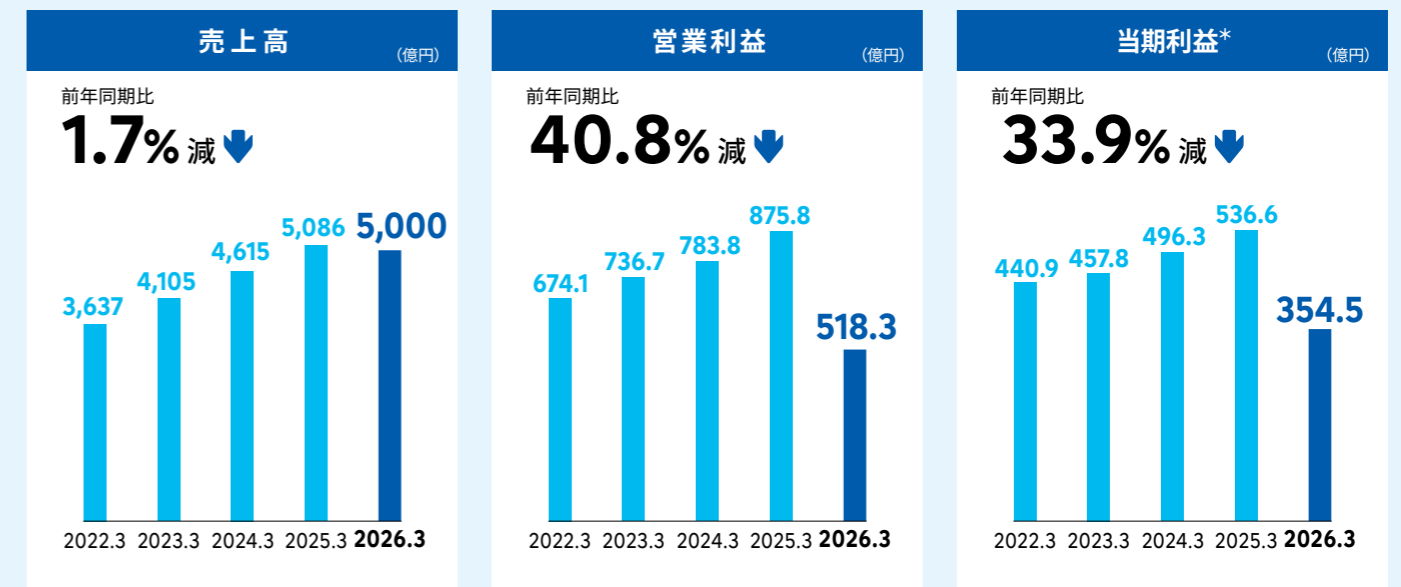
配当につきましては、2026年3月期は上場30周年の記念配当を含め、前期から6円増配の年間38円とし、2027年3月期は年間40円を予定しています。また、2026年3月に発表いたしました自己株式の取得も段階的に進め、今後も累進配当方針のもと、安定的かつ継続的な株主還元を努めてまいります(裏表紙ご参照)。

ステークホルダーの皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

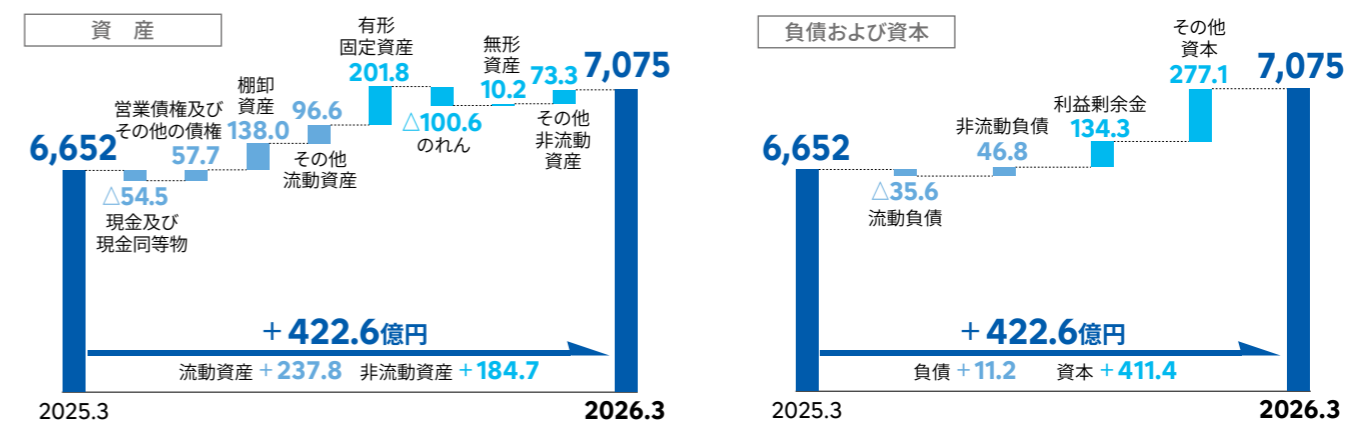
※想定為替レート：1USドル=155.0円、1ユーロ=180.0円、1中国元=22.0円で算出

本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。本資料に記載されている製品等の情報は、薬事認可取得の有無に関わらず宣伝広告および医学的アドバイスを目的としているものではありません。

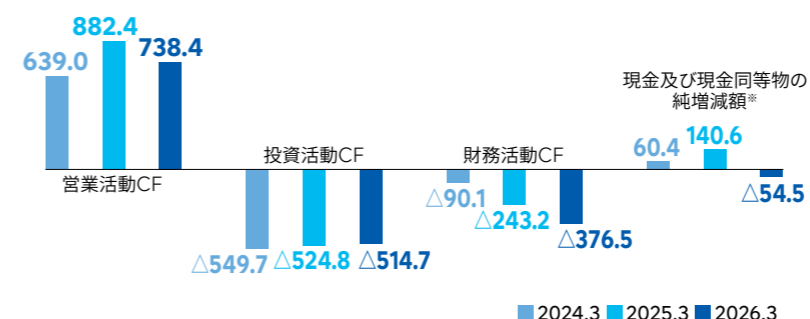
*当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益。



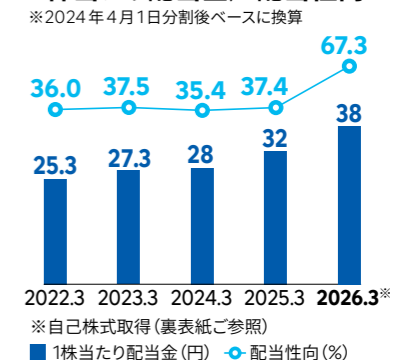
連結財政状態計算書の増減要因 (億円)



キャッシュ・フローの推移 (億円) ※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



1株当たり配当金/配当性向

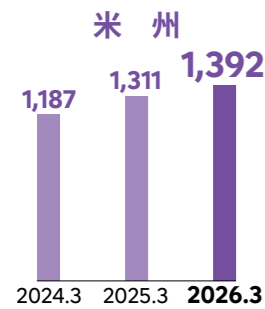


利益配分(配当)に関する考え方について：当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向40%を目処に配当を行ってまいります。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

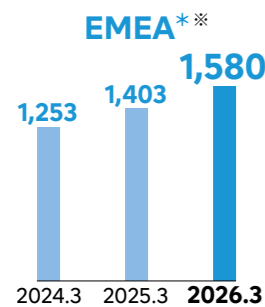
IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

地域別売上高 (億円)



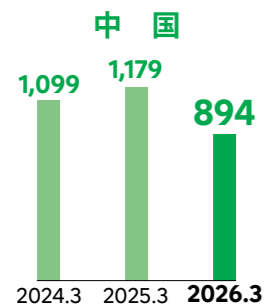
前年同期比 **6.2%増** ↑ **7.3%増** 現地通貨ベース

北米はヘマトロジー・尿分野の機器および試薬の売上が増加。ブラジルで2桁伸長するなど中南米も好調に推移し、増収。



前年同期比 **12.6%増** ↑ **5.2%増** 現地通貨ベース

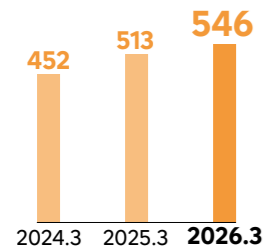
中東における地政学的影響を受けるも、直販化が進んだイタリアをはじめ、主要国および東欧においてヘマトロジー・尿分野が好調に推移し、増収。



前年同期比 **24.2%減** ↓ **24.9%減** 現地通貨ベース

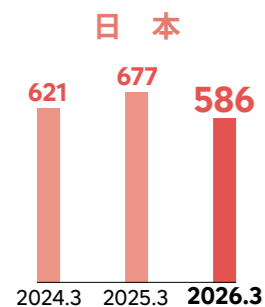
医療費抑制政策の影響拡大に加え、代理店の経営悪化による在庫調整も継続。ヘマトロジー分野の機器・試薬および血液凝固分野の試薬などが影響を受け、減収。

アジア・パシフィック ※



前年同期比 **6.4%増** ↑

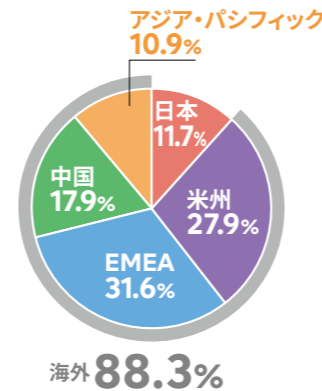
機器は減収も、インドおよび、フィリピン、マレーシアなど東南アジアを中心に試薬が好調に推移し、増収。



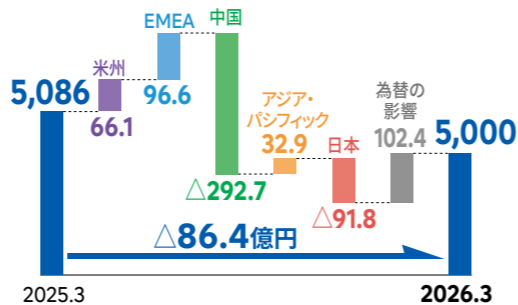
前年同期比 **13.5%減** ↓

尿分野の機器は好調に推移も、前年度のヘマトロジー機器好調の反動や、病院経営悪化に伴うメディカルロボット事業案件の減少もあり、減収。

地域別売上高構成比



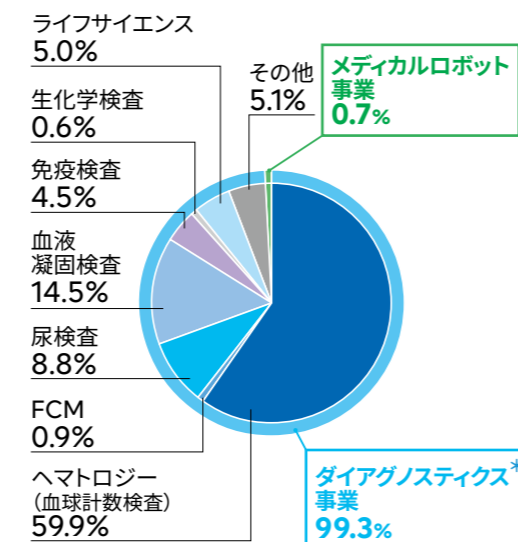
地域別売上高の増減 (億円)



■為替レート (円)

	2024.3	2025.3	2026.3
1 USドル	144.6	152.6	150.8
1 ユーロ	156.8	163.8	174.8
1 中国元	20.1	21.1	21.2

事業別売上高構成比



*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。 ※ロシアの売上はEMEAからアジア・パシフィックに組み替え。

*ダイアグノスティクス: 血液や尿などを採取して調べる検体検査

グローバルシェアNo.1の血液凝固分野をさらなる高みへ

シスメックスは、2026年3月に発表した新たな中期経営計画において、ダイアグノスティクス事業の競争力強化を重点施策の1つに掲げています。中でも、グローバルシェアNo.1*を誇る血液凝固分野は、当社のさらなる成長性・収益性向上を実現するために重要な分野であるため、今後一層グローバル展開に注力していきます。例えば、日本では、2025年12月、上位機種の高い性能をコンパクトなサイズに凝縮した新製品を発売しました。今後は、本製品を他地域の中下位市場や新興国にも導入し、医療従事者の負担軽減や高精度な血液凝固検査に貢献していきます。

また、2024年4月より、EMEA・米州地域において血液

凝固分野の直接販売を開始しました。EMEAでは、すでに多くの大型案件を獲得しており、今後は機器設置台数の増加に伴う試薬売上の拡大を見込んでいます。米州では、特殊項目を含む全試薬で薬事認可を取得しました。さらに、2026年1月には北米で血液凝固分野の新たなシステム製品を発売。これにより、上位市場での採用拡大に向けた準備が整い、本格的な売上拡大フェーズへ入ってまいります。

シスメックスは、今後も多様化・高度化する医療現場のニーズに応える製品・サービスを通じて、血液凝固検査の価値をさらに高め、より良い医療の実現へ貢献していきます。

※Siemens Healthineers社とのアライアンスを含む2024年売上高ベース (自社調べ)



全自動血液凝固測定装置 (卓上コンパクト型)



全自動血液凝固測定装置 (北米の大規模施設向け)

坂本花織選手が世界で4度目の栄冠! 輝かしい実績とともに競技生活に幕

2026年3月にチェコ・プラハで開催された「ISU世界フィギュアスケート選手権大会2026」の女子シングルにおいて、シスメックスフィギュアスケートチームの坂本花織選手が今季世界最高得点を記録し、優勝。坂本選手にとって現役最後の大会でしたが、日本人初となる4度目の優勝という快挙を達成しました。また、5月に引退会見を開催し、これまでの競技生活を振り返るとともに、今後の新たな歩みへの決意が語られました。坂本選手へのあたたかな応援をありがとうございました!



自己ベストかつ今季世界最高得点で現役最終戦を飾った坂本花織選手



引退会見の様子

NEW Webサイト リニューアルオープンのご案内

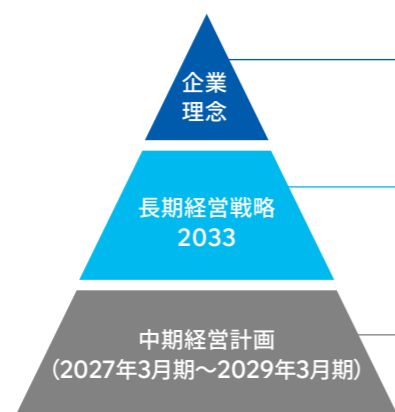
2026年4月に、当社のWebサイトをリニューアルしました。個人投資家さま向けのページも一新し、当社の事業概要や持続的な成長を支える源泉などをよりわかりやすく発信しています。ぜひご覧ください。

シスメックスの競争優位性を生み出す “3つの力” についても詳しく解説

新・中期経営計画を策定

ダイアグノスティクス事業強化 × 医療DX × 経営体質改善で
企業価値向上へ

シスメックスは、グループ企業理念「Sysmex Way」のもと、長期ビジョン「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」の実現に向けて、2029年3月期を最終年度とする新・中期経営計画を策定しました。主力であるダイアグノスティクス事業の強化、医療DXの推進、経営基盤の強化を通じて、持続的な成長と企業価値向上を目指します。



企業理念
Sysmex Way

長期経営戦略 2033
10年後に目指す姿として長期ビジョン「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」を掲げ、それを実現するための戦略を策定。

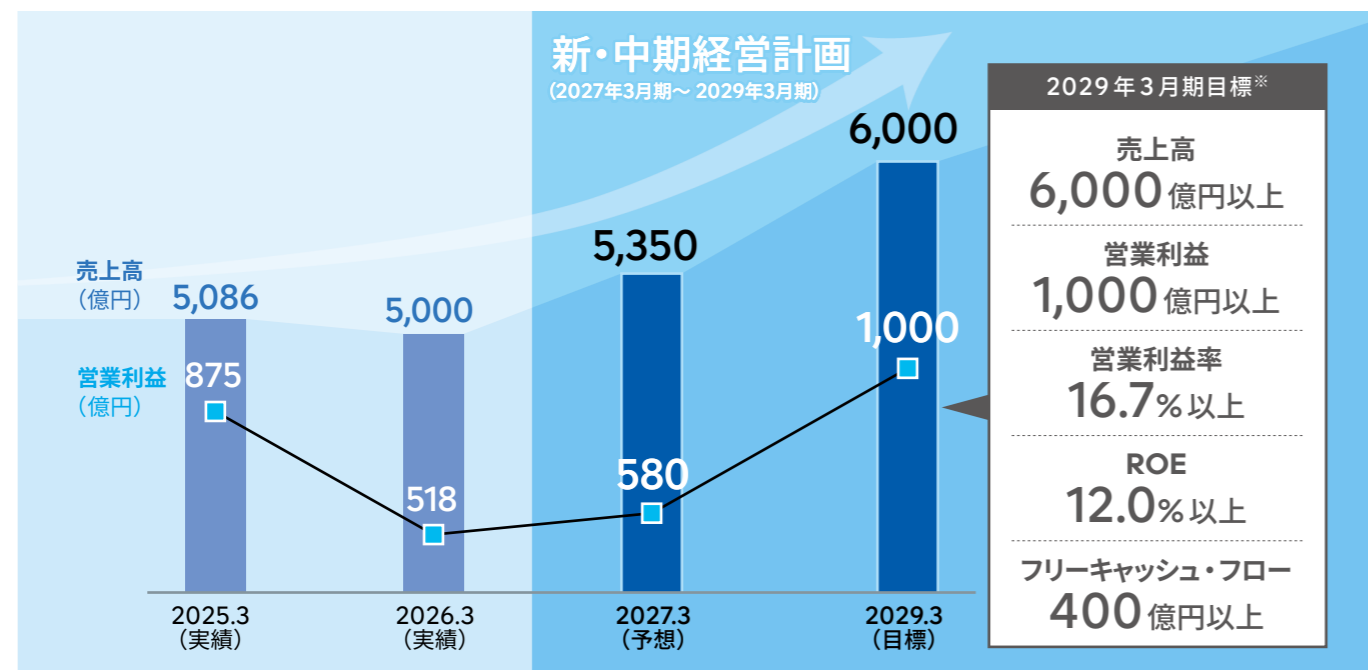
中期経営計画
2026年4月より新たな中期経営計画をスタート。今後3年間で取り組むべき重点テーマを定め、具体的な施策を推進します。

環境認識と新・中期経営計画の背景

ヘルスケア市場では、先進国で医療の高度化と医療経済性の向上、新興国・開発途上国で医療アクセスの向上が求められています。デジタルやAIの進展により、こうした課題解決への期待が高まる一方、地政学リスクや人材獲得競争な

ど、事業環境の不確実性も増えています。シスメックスは、このような環境変化を成長機会と捉え、新たな中期経営計画を策定しました。

中期経営計画 (2027年3月期～2029年3月期)



* 新・中期経営計画における想定為替レート：1USドル=150.0円、1ユーロ=174.6円、1中国元=211円で算出



新・中期経営計画の狙い

ダイアグノスティクス事業の「強さ」と「稼ぐ力」を再強化する

- ダイアグノスティクス事業に強くこだわり、選択と集中を通じてお客様に新たな価値を届ける
- 市場環境変化への対応と、成長への再投資を可能とする収益性を確保する
- 不透明な事業環境リスクを乗り越え、業界をリードする企業として、ステークホルダーへの責任を果たす
- 高い成長性への回帰と資本効率を改善し、資本市場からの信頼を回復する

重点的に取り組む4つのテーマ

ダイアグノスティクス事業の競争力強化

主力のヘマトロジー分野を中心に、グローバルでAIを搭載した次世代モデルの投入を進め、欧米では血液凝固分野の成長を加速させます。また、インド、ブラジル、中東、アフリカなど高成長市場においては、戦略商品の展開を通じて2桁成長の持続を目指します。



多項目自動血球分析装置

医療DXとデータ活用の推進

検査データとAIを活用し、診断支援、公衆衛生支援、検査室の運用最適化などのソリューションを段階的に実装することを目指します。これにより、医療の質と効率性のさらなる向上に貢献するとともに、医療DXにおける当社独自の価値提供を着実に創出していきます。



バリューチェーン改革による収益性向上

収益性の高い試薬の販売拡大、原材料内製化、生産スケール向上などを通じ、バリューチェーン全体で粗利率を改善。また、倉庫・生産拠点の最適化を進め、需要変動や物流制約に対応する効率的な供給網の構築を図るとともに、地政学リスクなどを踏まえたグローバル調達機能の強化にも取り組みます。



財務・資本戦略の再設計

格付AA-を維持できる範囲で有利子負債を活用し、資本構成の最適化により、資本コスト削減とROE向上を目指します。また、ダイアグノスティクス事業優先の投資配分を堅持し、M&A機会も検討します。株主還元では、配当性向40%を目安とした累進配当を継続し、自社株買いなど還元拡充を進めます。



会社概要 (2026年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 148億9,851万円
- 格付け AA- (R&I:格付投資情報センター)
- 従業員数 11,731名(連結) 3,502名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売
・輸出入

■役員 (2026年6月26日現在)

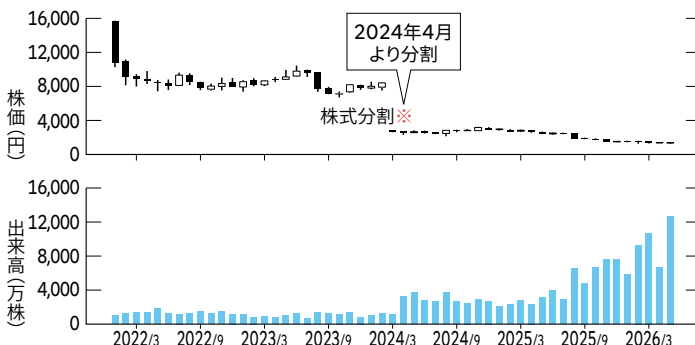
代表取締役会長 グループCEO	いえ つか ひさし 家次 恒
代表取締役社長	まつ い いわ ね 松井 石根
取締役 常務執行役員CTO	よし だ とも かず 吉田 智一
取締役 常務執行役員	お の たかし 小野 隆
取締役 常務執行役員CFO	いい つか けん すけ 飯塚 健介
社外取締役	おお た かず お 男 太田 和男 いの うえ はる お 夫 井上 治夫 ふじ おか ゆ か 藤岡 由佳 おお しま まり 大島 まり
取締役 (監査等委員)	あら まき とも お 夫 新牧 智夫
社外取締役 (監査等委員)	お だ けん じゅう 郎 織田 研二郎 さ えき とも ふみ 佐伯 友史

上席 執行役員	フランク ブッシャー Frank Buescher かな がわ みつ ひさ 金川 晃久
執行役員	モウ サク キ 彭 作輝 アラン バベレル Alain Baverel わた なべ れい こ 渡辺 玲子 なが い たか あき 長井 孝明 うち はし きん や 内橋 欣也 まつ お なお ひこ 松尾 直彦 つじ もと けん じ 辻本 研二 ダン ソートマン Dan Zortman あり かつ とみ ひこ 有方 富彦 かわ と しん いち 川戸 真一 はたけ だ たかし 島田 隆

株式の状況 (2026年3月31日現在)

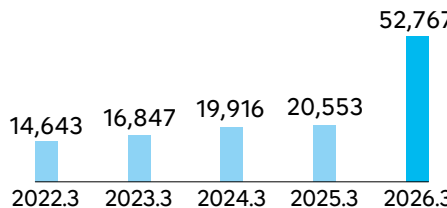
- 発行可能株式総数 1,796,064,000株
- 発行済株式総数 629,480,076株

■株価・出来高の推移 (2026年5月31日現在)

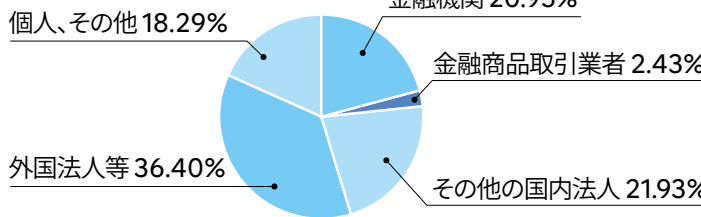


※2024年4月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。株式数は分割後の株式です。

■株主数の推移 (人)



■株式の所有者別状況



自己株式の取得のお知らせ

シスメックスは、株主の皆様の価値向上を目的として、自己株式の取得に係る事項について決議しました。なお、今回取得する自己株式は、会社法第178条の規定に基づき、すべて消却予定です。引き続き、持続的な成長に向けた積極的な事業への投資を継続しつつ、株主資本効率の改善および株主還元の拡充に取り組んでいきます。

株式の取得総数	3,000万株(上限)
株式の取得総額	300億円(上限)
取得期間	2026年3月6日～2026年9月18日
消却予定日	2026年9月30日

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 - 定時株主総会 6月
 - 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

- 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株

株式事務について

※証券会社に口座がある株主様はお引取の証券会社へお問合せください。

■株主名簿管理人(および特別口座 口座管理機関)

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〈連絡先〉TEL 0120-094-777 (通話料無料)
(土・日・祝日等を除く午前9時～午後5時)

〈ホームページ〉<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
よくあるご質問は右記2次元コードからご確認ください。



お知らせ

1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

